

弘 前 大 学  
教 育 学 部 紀 要

第 102 号

平成21年10月

Bulletin of the Faculty of Education  
Hirosaki University

No. 102

October 2009

弘 前 大 学 教 育 学 部

Hirosaki, Japan

# 目 次

八戸市立図書館蔵 遠山家旧蔵本の『往来物』について .....	郡 千寿子 (1)
正法眼蔵『仏性』(下) .....	矢 島 忠 夫 (9)
ジェームズ・ハットンの花崗岩観察へのこだわりと不整合の発見 .....	鎌 田 耕太郎 (25)
L. メーソンの『海外音楽便り』 .....	今 井 民 子 (33)
15世紀のメディチ家邸内における絵画 ―「祈念図像」から「美術品」へ― .....	出 佳奈子 (39)
飲酒スタイルをファッション化するデザイン .....	工 藤 真 生 (49)
―桜の風景を楽しむ日本酒ボトルとラベルのデザイン制作―	佐 藤 光 輝
「ちょっと気になる」幼児へのアダプテッドな身体活動プログラムの試み .....	増 田 貴 人 (57)
―社会―情緒的発達支援を意図して―	
青森県における子育て支援の実態と保護者のニーズに関する調査 (1) .....	管 田 貴 子 (67)
―保護者へのインタビューから―	増 田 貴 人 碧
青森県における子育て支援の実態と保護者のニーズに関する調査 (2) .....	伴 碧 (75)
―担当保育者への質問紙調査をとおして―	管 田 貴 子
	増 田 貴 人
青森県における子育て支援の実態と保護者のニーズに関する調査 (3) .....	増 田 貴 人 (87)
―保育者への調査によるニーズの把握と今後の課題―	管 田 貴 子 碧
小・中・大学生を対象とした調理用語の知識の実態 .....	前 田 雄 也 (97)
―被服製作用語の知識の実態との相違―	柏 崎 真理子
	日 景 弥 生
ねぶた祭への高校生の観覧・参加状況と祭への意識 (思い) 調査 .....	立 田 健 太 (105)
～ハネト若者離れ問題を焦点として～	佐 藤 紘 昭
	大 谷 良 光
青森ねぶた運行団体と子ども・学校との関わりの実態 .....	立 田 健 太 (115)
～大型・子ども・地域ねぶた運行団体を対象とした調査～	大 谷 良 光
	大 野 絵 美
弘前ねぶた祭り運行団体と子ども・学校との関わり現状と意識 .....	三 浦 俊 一 (125)
	大 谷 良 光
	立 田 健 太
社会教育は、なぜ「社会教育」と命名されたのか (その2) .....	佐 藤 三 三 (133)
―明治10年代の社会教育論研究の検討を通して―	
地域づくりにおける住民の学習課題 .....	大 坪 正 一 (141)
―核燃サイクル施設建設反対運動の学習を事例に―	

## 弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

## 弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるよう明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

編集委員会

北 原 啓 司 (委員長)

出 佳奈子

佐 藤 雄 一

A. S. Rausch

弘 前 大 学  
教 育 学 部 紀 要  
第102号  
(2009年10月)

平成21年10月26日印刷  
平成21年10月30日発行  
編集兼発行者  
弘 前 大 学 教 育 学 部  
弘前市文京町1番地  
電話 (0172) 36-2111(代)  
印刷所 小 野 印 刷  
弘前市富田町52  
電話 (0172) 32-7471(代)

# CONTENTS

Investigation report on "OURAIMONO" documents ..... donated by the Toyamas of Hachinohe City Library possession	Chizuko KOHRI (1)
Shōbō-Genzō "BUSSHŌ" .....	Tadao YAJIMA (9)
James Hutton's Continuous Observations of Granite and How it ..... Led to His Chanced Upon Concept of Unconformity within Strata	Kotaro KAMADA (25)
A Study of L.Mason's "Musical Letters from Abroad" .....	Tamiko IMAI (33)
Painting in the Palace of Medici in the 15th century: ..... from the "devotional image" to the "work of Art"	Kanako IDE (39)
Designing Sake Bottles and Labels ..... -For a New Style of Drinking under the Cherry Blossoms-	Mao KUDO (49) Mitsuteru SATO
A trial of practice on adapted physical activity program for "difficult" ..... young children: Intent to support their socio-emotional development	Takahito MASUDA (57)
Research on the Present Situation of Child Care Support and Parents' Needs ..... in Aomori Prefecture (1) : Based on Interviews with the Parents	Takako KANDA (67) Takahito MASUDA Midori BAN
Research on the Present Situation of Child Care Support and Parents' Needs ..... In Aomori Prefecture (2): Based on Survey with Kindergarten and Nursery School Teachers	Midori BAN (75) Takako KANDA Takahito MASUDA
Research on the Present Situation of Child Care Support and Parents' Needs ... in Aomori Prefecture (3): Understanding of Kindergarten and Nursery School Teachers' Needs through Survey, and Review of Future	Takahito MASUDA (87) Takako KANDA Midori BAN
Survey of Knowledge on Words about Cooking for Elementary School ..... Children, Junior High School Students, and College Students — The differences between Knowledge on Words about Cooking and Dressmaking —	Yuya MAEDA (97) Mariko KASHIWAZAKI Yayoi HIKAGE
A Survey of High School Students' Participation in the Nebuta Festival ..... as either 'Haneto' or Spectators, and their Thoughts about the Festival : Focusing on the Problem of the Decline in Number of 'Haneto' Youths	Kenta TATSUTA (105) Hiroaki SATO Yoshimitsu OTANI
The Current Situation of the Relationship between Aomori ..... 'Nebuta' Festival Organizers and School Children and Schools : Survey Results Collected from the Organizers of Full-Scale, Children's, and Regional 'Nebuta' Floats	Kenta TATSUTA (115) Yoshimitsu OTANI Emi ONO
The Current Situation of the Relationship between Hirosaki ..... 'Nebuta' Festival Organizers and School Children and Schools, And their Thoughts about the Festival	Syunichi MIURA (125) Yoshimitsu OTANI Kenta TATSUTA
Why is it called "Social Education" Through a study of Social Education ..... theories duaring the 2nd decade of the Meiji era	Sanzo SATO (133)
Some Learning Tasks in the Inhabitants' Movement of Anti-Nuclear ..... Fuel Cycle Facilities Construction	Shoichi OTSUBO (141)